

(社)日本鉄鋼協会 創形創質工学部会・(社)日本鋼構造協会 交流企画連絡会

**第9回鉄鋼材料と鋼構造に関するシンポジウム 開催のご案内**  
**テーマ：「革新的構造材料を用いた新構造システム建築物**  
**- 革新的構造材料による震度7弾性構造体 - 」**

平成10年からスタートしました(社)日本鉄鋼協会と(社)日本鋼構造協会の交流企画連絡会主催によるシンポジウムは第9回を迎え、今回は、日本鉄鋼協会春季講演大会において「革新的構造材料を用いた新構造システム建築物 - 革新的構造材料による震度7弾性構造体 - 」を主題として下記のとおり開催することになりました。奮ってご参加くださいますよう、お願いいたします。

1. 開催日時：2008年3月27日(木)13:00～17:00
2. 開催場所：第155回春季講演大会 第6会場 (武蔵工業大学8号館1階814教室)  
〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 TEL:03-3703-3111(大代表)  
地図・アクセスはHP参照、URL: <http://www.musashi-tech.ac.jp/footer/campusmap/>

3. 講演内容：

座長 小林順一 ((社)日本鉄鋼協会・(社)日本鋼構造協会交流企画連絡会 主査)

**講演1「新構造システム建築物研究開発プロジェクト紹介」**

講演概要：プロジェクト全体の概要について説明する。

**講演2「複合建築物における構造性能」**

谷口 元 (新構造システム建築物研究開発委員会 複合建築分科会 主査)

講演概要：最近の地震による被害は、製造施設における生産ラインの停止が一企業だけでなく日本経済に与えるダメージの大きさをみせつけた。地震リスクの低減を目指し、製造施設を含む新しい建築物のコンセプトモデルを紹介する。

**講演3「オフィスビルにおける構造性能」**

田村和夫 (同 中高層建築分科会 主査)

講演概要：主要都市部の中心に位置し、数多く建設されているオフィスビルでは、1棟の倒壊・半壊がその街区、地域に与える影響が大きい。今後のオフィスビルに求められる耐震性能をクリアするためにダンパーを有効利用したコンセプトモデルを紹介する。

**講演4「超高層オフィスビルにおける構造性能」**

前田祥三 (同 超高層建築分科会 主査)

講演概要：都市における象徴的建築物であり、不特定多数の人々が利用する超高層ビルは、大小様々な機能を有し、災害時には、その機能停止すら許されるものではない。また、想定外荷重に対するリダンダンシー性能も求められる超高層ビルのコンセプトモデルを紹介する。

4. パネルディスカッション「震度7弾性構造体を実現する革新的構造材料」

司会・パネリスト 未定

5. 参加費：2,000円((社)日本鉄鋼協会会員・(社)日本鋼構造協会会員)  
3,000円(一般)

参加費は当日会場で受付けます。テキストは当日配布します。

尚、詳細は随時HP上で更新しますので、それぞれの協会のHPをご参照ください。

(社)日本鉄鋼協会：URL: <http://www.isij.or.jp/> (社)日本鋼構造協会：URL: <http://www.jssc.or.jp/>

問合せ先・申込み：

(社)日本鉄鋼協会 学会・生産技術部門事務局

技術企画・部会 Gr. 太田

〒101-0048 千代田区神田司町2-2 新倉ビル2階

TEL.03-5209-7012 FAX.03-3257-1110 E-mail: [ohta@isij.or.jp](mailto:ohta@isij.or.jp)